

科目名	比較政治学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記 独文表記	Comparative Politics Vergleichende Politikwissenschaft	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	てらさこ ごう	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	寺迫 剛	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	<p>新型コロナ危機に直面した当初、まるでSF映画のように、世界中の人々は物理的に離れ離れになってしまった一方で、逆に世界は一つしかないという連帯感を生み出せる機会であったのも束の間、今や現実の世界は再びあらゆる争いに覆われています。例えば、国家間における戦争から、一国内における格差をめぐる問題まで。一体なぜ？</p> <p>比較政治学ならその答えに近づけるかもしれません。資源も限られ環境も変動する地球上で、それぞれの歴史的経路などから多様な制度を有する約 200 の国と地域について、多様な行為主体（アクター）が織りなすダイナミクスあるいはエコシステムとして認識します。そして、人権と民主主義といった普遍的な価値や、経済指標や公共政策に係る客観的数値を「ものさし」として類型化し、各国や各政策およびその相互作用について比較分析します。</p> <p>本講義では比較政治学の文脈から理論と現実を架橋し、各国を基本的な単位としつつ、国境や階層を超えて相互作用する「社会を共にし、運命を分かち合っている人々が互いに力を合わせて共通のニーズを充足し、人間としてのよりよき存在のために必要な諸条件を整えていくことを目指す集合的な営為」（片岡寛光(1990)『国民と行政』）についての理解を深めることをテーマとします。</p>				
到達目標	<p>①比較政治学についての基礎的方法論を認識し、</p> <p>②民主主義と非民主主義体制の類型、各国の中央地方関係、選挙制と議会制等、行政システムと公共政策等について理解するとともに、</p> <p>③日本を客観視しつつ諸外国との比較の視点を獲得することで、世界の多様性と互惠性を認識することを目標とします。</p>				
授業概要	<p>比較政治学を通じて、世界の基本的な「しくみ」について講義し、日本を各国との比較の文脈で客観視できる認識力を獲得することで、私達の日常が世界の多様性と不可分に結びついているという認識を涵養します。</p>				
授業計画					
第1回	イントロダクション【そもそも比較政治学とは】「隣の芝生は青い」かどうか「ものさし」で比べる				
第2回	民主主義は大丈夫か①【体制間比較】各国民主主義指標：新型コロナ危機への対応力				
第3回	民主主義は大丈夫か②【新制度論・合理的選択論】選挙と政党制：政党って誰のもの？				
第4回	歴史に学ばぬ者にならぬように①【制度発展】自由論と民主主義論：なぜ世界はウクライナを支えるのか？				
第5回	歴史に学ばぬ者にならぬように②【市民革命と産業革命と民主化革命】「民主化の波」論の成否				
第6回	政治と行政のしくみ①【政治体制】議院内閣制と二代表制：首相はなぜ直接選べないの？				
第7回	政治と行政のしくみ②【中央地方関係】連邦制国家と単一主権国家：日本の道州制はどちら？				
第8回	政治と行政のしくみ③【政策過程】アジェンダ設定から政策評価まで：なぜ物語は始まらないの？				
第9回	誰のための政治か①【福祉国家論】社会保障の多様なレジーム：世代間対立を煽るのは誰だ？				
第10回	誰のための政治か②【防災、エネルギー、安全保障政策論】3.11 から 10 年超：各国で異なる原発の可否				
第11回	グローバルな視野で考える①【環境問題／デジタル化】テクノロジーで世界の危機を克服できるか？				
第12回	グローバルな視野で考える②【戦争と平和のリアル】ウクライナでの戦争におけるドイツの逡巡と決断				
第13回	担い手は私達①【国際金融・財政論】納税と財政：コスパの射程を「今の自分だけ」から広げてみたら？				

第14回	担い手は私達②【ガバナンス論】私達のダイバシティ：SDGsにどう取り組む？
第15回	コンクルージョン【結局のところ比較政治学とは】まとめ／期末試験・成績評価の概要
第16回	定期試験
授業時間外の学習	文部科学省の大学設置基準第21条に基づき、 予習2時間：講義のテーマに関する情報に積極的に接し、疑問点および現時点での考えをまとめておく。 復習2時間：講義を踏まえ、レジュメ等を基に、各自オリジナルのノート（A4版1頁程度）をまとめる。
履修条件 受講のルール	カリキュラムの規定のとおりです。
テキスト	『政府間関係の多国間比較—中間政府への権限移譲の実態』 秋月謙吾・城戸英樹編（慈学社、2021） 『比較政治学入門』 岩崎正洋（勁草書房、2015） 『比較政治制度論』 建林正彦・曾我謙吾・待鳥聡史（有斐閣アルマ、2008）
参考文献・資料	『Politics in Time- History, Institutions, and Social Analysis.』 Paul Pierson, (Princeton University Press, 2004) 『新制度論』 B・ガイ・ピーターズ著（土屋光芳訳）（芦書房、2007） 『比較政治制度論』 建林正彦・曾我謙吾・待鳥聡史（有斐閣アルマ、2008） 『日本の自治体外外交』 ブルネンドラ・ジェイン著/今村都南雄監訳（敬文堂、2009） 『政策過程の理論分析』 岩崎正洋編（三和書籍、2012） 『英国の大都市行政と都市政策 1945-2000』 馬場健（敬文堂、2012） 『比較政治学入門』 岩崎正洋（勁草書房、2015） 『ウェストミンスター政治の比較研究』 R.A.W.ローズ他著、小堀眞裕・加藤雅俊訳（法律文化社、2015） 『地方創生大全』 木下斉（東洋経済新報社、2016） 『地方分権の国際比較—その原因と中央地方間の権力関係の変化』 秋月謙吾、南京兌（慈学社出版、2016） 『詳説世界史研究』 木村靖二・岸本美緒・小松久男（山川出版社、2017） 『東日本大震災大規模調査から読み解く災害対応』 稲継裕昭編（第一法規、2018） 『原発都市』 乾康代（幻冬舎ルネッサンス新書、2018） 『原発災害で自治体ができなかったことできなかったこと』 今井照編（公人の友社、2019） 『Federalism and Social Policy』 Scott L. Greer and Heather Elliot, (University of Michigan Press, 2019) 『Verwaltung und Verwaltungswissenschaft in Deutschland, 3.Auflage』 Jörg Bogumil und Werner Jann, (Springer VS, 2020) 『新しい地政学』 北岡伸一・細谷雄一編（東洋経済新報社、2020） 『政策はなぜ検証できないのか』 西出順郎（勁草書房、2020） 『テキストブック NPO 第3版』 雨森考悦（東洋経済新報社、2020） 『比較政治学方法論批判』 大木啓介（日本評論社、2021） 『議会制民主主義の揺らぎ』 岩崎正洋編（勁草書房、2021） 『日本型福祉国家再編の言説政治と官僚制』 西岡晋（ナカニシヤ出版、2021） 『住民投票の全て』 今井一編（[国民投票/住民投票] 情報室、2021） 『原子力政策と住民参加—日本の経験と東アジアからの示唆』 田中良弘（第一法規、2022） 『人口減少時代の地域経営政策』 川島典子編（晃洋書房、2022） 『クライエントリズムをめぐる比較政治学』 日本比較政治学会編（ミネルヴァ書房、2022） 『命か経済か：COVID-19と政府の役割』 岩崎正洋編（勁草書房、2023）
成績評価の方法	期末試験の成績に基づきつつ、講義への参加状況も踏まえ、総合的に評価します。 ※ノースアジア大学の規定により、出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	水曜日4限および木曜日4限
成績評価基準	期末試験 55%、小レポート 15%、出席率を含む講義への参加度 35% 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	いわゆるコミュ力があると思っている人も、独りぼっちだと思いついでいる人も、誰もが楽しい講義です、なぜなら「地球はまわる 君をのせて いつかきっと出会う ばくらをのせて」(宮崎駿 1986)回るからこそ、比較政治学が対象とするのは、世界を構成する各国を構成する私達一人ひとりであり、最も忘れてはならない大切なことは、「誰も見捨てない」ことだからです。